

Immediate Press Release 2015.04.01

## 高橋コレクション展 ミラー・ニューロン TAKAHASHI COLLECTION : Mirror Neuron

謹啓 桜花の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、東京オペラシティアートギャラリーの展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当館では、2015年4月18日〔土〕より6月28日〔日〕まで、「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」を開催いたします。

「高橋コレクション」は、精神科医・高橋龍太郎氏の収集による現代アートのコレクションであり、1990年代以降の日本のアートシーンを俯瞰するうえで欠かせない存在として、内外で高く評価されてきました。1990年代に収集を本格化させた高橋氏は、奈良美智、村上隆、会田誠、ヤノベケンジといった、現在日本を代表する作家たちにごく早い時期から注目し、彼らの重要作品を次々と収集し、一躍現代アートのコレクターとして名を馳せます。また、近年ではより幅広いコレクションを志向し、「もの派」をはじめキャリアの長い作家なども積極的に収集する姿勢を見せています。高橋氏の収集に注ぐ情熱は、つねに日本のアート、日本の文化に対する溢れる愛情と透徹した眼差しに裏打ちされているのです。

本展は、高橋氏が日本のアートと文化を考えるためのキーワードとして提案する「ミラー・ニューロン」をタイトルに、より包括的で歴史的な視野から、かつてない規模で「高橋コレクション」を紹介し、日本の現代アートの流れと特質を読み解いていくものです。草間彌生、舟越桂、名和晃平、Chim ↑ Pomら52作家、約140点の作品を通し、現代アートの息吹を生き生きと体感することができます。

本展覧会の概要と見どころをご紹介しますので、「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」を貴媒体上で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 【開催概要】

展覧会名： 高橋コレクション展 ミラー・ニューロン TAKAHASHI COLLECTION: Mirror Neuron  
 会期： 2015年4月18日〔土〕— 6月28日〔日〕  
 会場： 東京オペラシティ アートギャラリー  
 開館時間： 11:00 — 19:00 (金・土は20:00まで／最終入場は閉館の30分前まで)  
 休館日： 月曜日 (ただし5月4日は開館)  
 入場料： 一般1,200 (1,000)円／大・高生800 (600)円／中学生以下無料

\* 同時開催「収藏品展051 30+A」, 「project N 60 富田直樹」の入場料を含みます。

\* 収藏品展入場券200円 (project Nを含む / 割引無し) もあり。

\* ( ) 内は15名以上の団体料金。

\* 障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。

\* 割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ： 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

ウェブサイト <http://www.operacity.jp/ag/exh175/>  <https://www.facebook.com/tocag>

主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、朝日新聞社

協賛： 日本生命保険相互会社

協力： 相互物産株式会社

特別協力： 高橋龍太郎、高橋コレクション、医療法人こころの会

企画協力： 内田真由美、児島やよい

### ■高橋コレクション展 リリースに関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】 福士 【広報担当】 吉田

Tel:03-5353-0756 / Fax:03-5353-0776 / Email:ag-press@toccf.com

## 1. 「高橋コレクション」の新たなキーワード

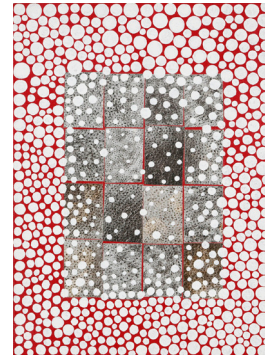
「高橋コレクション」はこれまでに、「ネオテニージャパン」や「マインドフルネス!」など、日本のアートと文化をトータルで捉えるキーワードをタイトルに提案し、現代アートに馴染みのない人にも、作品の魅力を伝えてきました。今回新たにタイトルに選ばれた「ミラー・ニューロン」とは、他者の行動を見て「鏡」のように自分も同じ行動をしているかのように反応する神経細胞を意味し、それは他者との共感や模倣行動をつかさどるとも考えられています。本展においては、日本の現代アートに広く見られる「なぞらえ」の作法が、「模倣」「引用」などを重要な手段とする現代アートの世界的潮流だけでなく、「見立て」や「やつし」といった伝統的な日本の美意識とも通底していることを意識させるキーワードとなります。

本展によせて コレクター・精神科医 高橋龍太郎

ミラーニューロンはイタリア、パルマ大学のジャコモ・リブラッティによって、1996年発見された神経細胞である。実験者がエサを拾い上げたときに、それを見ていただけのマカクザルが、エサを取るときと同じ脳の部位が活動したことに由来する。このように他者の行動を自分もやったかのように映すニューロンは、人間にも存在することが確かめられている。人間はこのミラーニューロンによってもたらされる模倣行動によって、他者の行動を理解し共感する。人間の言語をこのミラーニューロンによって獲得されたものとする学説もある。

しかし人間にとって最大の模倣は自然への模倣だろう。アリストテレスは、芸術は自然を模倣するとして、模倣（ミメシス）を人間の本质と高く評価した。1980年代以降現代アートは模倣と引用によるシミュレーションの影響なくしては語れない。しかしシミュレーションといえば、日本には本歌取り、見立て、やつし等、千年の歴史がある。とするなら日本の現代アートシーンは、正面に西欧のアートミラーがあり、背後に千年の伝統ミラーを見据える合わせ鏡の只中にあることになる。

それは世界のアートシーンのなかの稀有な痙攣する美になるのか。はたまた無限に映し返される煉獄に過ぎないのか。



草間彌生《レベティション A, B》1996  
フォトコラージュ、ペイント、紙 33.4×24.3 cm  
Photo: KIOKU Keizo  
© Yayoi Kusama | Courtesy of KUSAMA Enterprise, Ota Fine Arts



会田誠《ジュサーミキサー》2001  
アクリル絵具、キャンバス 290.0×210.5 cm  
Photo: KIOKU Keizo  
© AIDA Makoto | Courtesy of Mizuma Art Gallery

## 2. 「高橋コレクション」に加わる新作に注目

1990年以降の日本の現代アートのイメージが強い「高橋コレクション」ですが、収集の契機となった草間彌生はもちろん、60年代末に登場して現代アートの分水嶺として重要な「もの派」の作家などベテランの作品も紹介し、より広い視野から現代アートを考える機会とします。また内外の大規模プロジェクトなどで快進撃をつづける名和晃平の最新作で高橋氏のために制作された《PixCell-Lion》を初公開します。「アートの力で日本を元気にしたい」という高橋氏の願いが込められたコレクションを通して、現代アートの世界に触れ、その楽しさと魅力を発見してください。



舟越桂《遠い手のスフィンクス》2006  
桶に彩色、大理石、革、鉄 110.0×90.0×40.5cm  
© FUNAKOSHI Katsura | Courtesy of Nishimura Gallery

## 3. 現代アートの魅力を語る関連イベント

◎ギャラリートーク 各日 16:00-17:00 東京オペラシティ アートギャラリー展示室内

- ・ 第1回 4/18 [土] ▶高橋龍太郎、青山悟、風間サチコ、加藤泉、塩保朋子、各氏ほか
- ・ 第2回 5/24 [日] ▶高橋龍太郎、鴻池朋子、近藤亜樹、松井えり菜、宮永愛子、各氏ほか
- ・ \*参加には当日の展覧会入場券が必要です。(予約不要、ただし参加状況により入場制限を行う場合がございます)

◎対談 名和晃平/鈴木芳雄(美術ジャーナリスト、編集者) 各氏

日時:5/16 [土] 14:00-15:00 会場:東京オペラシティビル7階第一会議室(定員80名/全席自由)

参加費:無料(展覧会の入場は別料金) 要整理券

\*当日11:00よりアートギャラリー受付にて整理券を配布します、お一人1枚のみ。定員に達し次第終了。

[出品作家]

会田誠、青木陵子、青山悟、浅井裕介、荒木経惟、安藤正子、池田学、伊藤存、井上有一、榎倉康二、大岩オスカル、岡田謙三、小沢剛、小谷元彦、風間サチコ、榎木知子、加藤泉、加藤美佳、金坂健二、草間彌生、鴻池朋子、小林孝亘、小林正人、近藤亜樹、塩保朋子、菅木志雄、須田悦弘、関根伸夫、辰野登恵子、束芽、Chim↑Pom、中村一美、奈良美智、名和晃平、西尾康之、蜷川実花、橋本雅也、舟越桂、町田久美、松井えり菜、丸山直文、Mr.、宮永愛子、村上隆、村瀬恭子、森村泰昌、森山大道、やなぎみわ、ヤノベケンジ、山口晃、横尾忠則、李禹煥



名和晃平《PixCell-Lion》2015  
ミクストメディア 117.2×65.5×239.1 cm  
Photo: 表恒匡 | SANDWICH



森村泰昌《第三のモナリザ》1998  
カラー写真プリント 77.0×54.5 cm (framed: 99.5×77.0 cm)  
© Morimura Yasumasa | Courtesy of ShugoArts